



いざ、県総体へ！！

6月1日（土）からくじゅう山系で開催される第61回大分県高等学校総合体育大会（県総体）が目前に迫りました。

5月27日に行われた壮行会では、男女の各主将が全校生徒の前で優勝を誓いました。



先頭を切って山岳部男子9名が入場！



続いて女子4名が入場！



藤原校長の激励を受けます。男子は山登魂（やまとだまし）Tシャツ、女子はユニフォーム着用。「気力・闘志・根性」の木札が選手の気持ちを鼓舞します。

先日、大分合同新聞に掲載された競技予想では、登山競技では「男女ともに竹田高校が最有力」とのこと。しかしながら、男子はライバル校である大分工業高校、女子は大分上野丘高校に足元をすくわれなければなりません。選手は登山計画書の作成や装備最終点検、ペーパーテスト対策にと慌ただしい日々を送っています。

30日は装備点検、31日は食料買い出しを行い、6月1日からの本番に備えます。また、31日は県総体総合開会式に日小田男子主将、古嶋女子主将の2名が優勝旗を手に開会式の入場行進に参加する予定です。

おかえりなさい、渡邊裕介さん！
～3週間の教育実習で母校へ～

5月27日から教育実習生が来ています。今年は地歴、英語、保健体育の3教科の実習に、それぞれ1名ずつ、計3名の卒業生が実習を行っています。

保健体育科の教育実習を行っているのは、山岳部OBの渡邊裕介さん（大分大学4年生）です。渡邊さんは緑ヶ丘中学校出身で、チャレンジ！おおいた国体で活躍したクライマーです。

多忙を極める教育実習中ですが、放課後は後輩の指導にあたってくれています。在学中は、生徒会長も務めた渡邊さん。



高3時の懐かしい1枚。JOC（富山）の大会を終えて、さんふらわあの船内でくつろぐ渡邊さん。あどけないですね。

私、タカハシが渡邊裕介くんに初めて会ったのは、彼が竹田高校山岳部に入って間もない頃山系での県総体のことでした。当時、私は登山専門部委員長、緒方工業高校勤務でした。その年の県総体は、A隊は午後2時過ぎに三重町の大白谷公民館に下山したものの、男子B隊と女子隊が夜になってもなかなか下山せず、下山口の林道まで車で迎えに行きました。激しい雨の中、ぬかるんだ登山道を歩行する技術をまだ持ち得ていない生徒たちの歩みは遅く、全員がずぶぬれで泥だらけという有り様でした。私と数人の教員が車を出し、取りあえず選手のザックを車に回収し、手ぶらでゴールさせようと配慮したのでした。私は新車の中に泥だらけのザックをぎゅうぎゅうに詰め込み、大白谷公民館を目指して林道を下っていました。

そのとき、何かを叫びながら車にふらふらと近づいてくる人影が！「の、乗せてください…。」と、すがるような顔で私の車に乗ろうとしたのが、今、教育実習で日々汗を流している渡邊さんだったのです。「みんな歩いてるから君だけ乗せるわけにはいかないよ！」と無視してアクセルを踏んだものです。あの野戦病院と化した大白谷事件から早7年、当時ズルをしようとした少年はやがて立派な国体選手となり、更には教育実習生として母校に凱旋したのであります。（凱旋は言い過ぎですね。）

実り多い教育実習となりますように、合澤・高橋も陰ながら支援させていただきます。ガンバレ、裕介！



渡邊裕介さん（右）と指導にあたられている鷲尾教諭（左）2年1組の朝学習時におじゃましてパチリ！

山登魂Tシャツ、今年も注文受付開始！

山岳部、公式練習着の1つ、『山登魂Tシャツ』の販売が今年も始まりました。1着3,000円。速乾素材のTシャツで、左胸には刺繍で「竹田高校山岳部」、左腕にはピッケルとストックを描いた竹田高校山岳部マーク、そして

背中には躍動感ある文字で「山登魂（やまとだましい）」の文字。



西大分の登山用品店、山溪さんにも展示されています。写真は高橋愛用の紺仕様。色はお好きなものを選びます。ただ今、絶賛注文受付中。いつぞやのインターハイでこのTシャツに刺激を受けたらしい女子隊が「山登撫子（やまとなでしこ）」と描かれたTシャツを着ていました。返歌のようだったのを覚えています。

そして、こちらは北部九州総体キャンペーン用半袖ポロシャツ！なんとボタンダウン仕様。合澤監督は3着色違いで持っています。大好きな蛍光カラーばかりのようです。高橋はこの1着のみ。なかなかいい色のグレーです。



背面の上部には北部九州総体のキャッチフレーズ「吹きわたれ若人の風北部九州へ」が刺繍されています。ミズノ製。消臭効果もある素材だそう。こうしたオリジナルグッズも次々とあられ、インターハイムードが徐々に高まってきました。さあ、北部九州総体の切符を取りにいざ県総体へ！！今年もやるぞ、男女アベック優勝！



田植え前の高橋宅。田んぼの水面に空が映えて It's so beautiful!